

1 主題構成表

主題名「郷土愛」(中学校・第3学年)

資料名「世のため人のため」(松尾 国松)

<p>■ 内容項目 C(16) 「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。</p>	<p>■ 内容項目から見た生徒の実態(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化等について学習しており、地域の活動に興味・関心をもって、自ら地域行事に参加しようとする意識がある。</li> <li>・地域や社会の発展に尽くしてきた先人等によって、今の自分たちの生活があるという自覚や、郷土を愛し進んで発展のために努めようとする意欲は弱い。</li> </ul> <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自我の確立を強く意識する余りに、自分が自分だけで存在していると考えがちである。</li> <li>・地域社会に尽くした先人や高齢者などの先達がいたことを知らない。</li> <li>・地域社会に尽くした先人達のことを知っていても、自分の生活と結び付けて考えたことがない。</li> </ul>	<p>■ 資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本資料は、岐阜市長であった松尾国松が、岐阜市の発展を願って様々な反対や困難に打ち勝って上下水道を完成させ、全国でも模範的な衛生都市の基盤をつくったことを取り上げている。</li> <li>・国松は市民の健康を考えた上で、水道建設の計画をしたが、市民の4分の3が反対をした。その状況にもかかわらず、計画を進めた国松の悩みや気持ちを考え、地域社会をよりよくしようと取り組む強い思いに気付くことができる。</li> <li>・さらに伝染病による幼児の死亡をなくそうと下水道建設の計画をするが、市民の強い反対や政府の補助金の打ち切り、戦争による物資不足などの様々な困難にぶつかった時の気持ちを考えながら、事業を続ける国松の故郷の発展を願う心の強さに気付くことができる。</li> <li>・国松の成し遂げた偉業や生き方を知ることによって、感謝と尊敬の念を育み、進んで郷土のために何かしようとする態度を育むことができる。</li> </ul>
<p>■ 価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々は、一定の地域社会に住み、それぞれの歴史と文化をもつ。公共の場を共有して、相互の連帯意識によって結ばれるものである。</li> <li>・中学生の段階では、地域社会に尽くした先人等の努力により、現在の豊かな暮らしを営むことができていることを理解することが大切である。そして、先人等への尊敬の念や感謝の気持ちを深め、今後は自分たちの力で、地域に住む人々と共に、地域社会をよりよいものに発展させていこうとする意識を育む必要がある。</li> <li>・この時期の生徒は、地域社会の現状を把握したり、地域の人々との関係を問い直したりしながら、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めようとする態度を育むことが大切である。</li> </ul>		

■ ねらい  
現在の豊かな暮らしができているのは、将来を見据え、周囲の理解を得ようと粘り強く努力を重ねた先人等の努力によるものであることに気付き、郷土や地域に主体的に関わり、自分ができることは何かを考え、郷土の将来のために自分から行動しようとする意欲を育む。

<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康を願っての提案に、市民の4分の3から反対をされた時の悩みや気持ちに共感する。</li> <li>・市民からの強い反対や政府の補助金の打ち切り、戦争による工事に必要な物資の不足等、事業継続が困難な状況を、類似経験から想起し、自分との関わりから考える。</li> <li>・様々な困難にも負けないで事業を続けた国松の実行力の素晴らしさを感じながら、郷土を愛する心が深く、その心が行動力になっていたことに気付く。</li> </ul>	<p>■ 基本発問(◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○上水道建設計画では、市民の4分の3が反対をしたが、松尾国松はどんな気持ちだっただろう。</li> <li>○下水道建設では、さらに様々な困難にぶつかったが、このような状況に置かれた時、自分ならどうするだろうか。</li> <li>◎様々な困難にも負けないで、国松が下水道工事を成し遂げたのはどうしてだろう。</li> <li>○地域社会をよりよくするために、自分にできることについて考えをまとめてみよう。</li> </ul>
--	--

■ 「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・**授業後**・活用しない)  
(活用の仕方) 本時の学習の内容を家庭に伝え、「ふるさとの発展に貢献する」(P203)を家の人と一緒に読んだり書いたりしながら振り返る。